

仙台BOSAI-TECH 事業創出プログラム説明会

- **仙台BOSAI-TECH Future Awards**
～テクノロジーで明日を守るプランニングコンテスト
- **仙台BOSAI-TECH Open Bridge**
～防災現場の声を集めるソリューション発表会

2023年8月23日(水) 15:00～16:00

- 当説明会の内容は、録画しております。
- 質問は、Q & Aにて随時受け付けます。
※質問によっては当説明会で即時回答が難しい場合があります。ご了承ください。
- 説明会資料は、ウェブサイトからダウンロードできます。ぜひお手元でもご参照ください。
- 説明会后、ウェブサイトにて本日のアーカイブ動画を公開する予定です。

ウェブサイトは、こちらのURLからご覧ください。

https://sendai-bosai-tech.jp/event/future_awards/

仙台BOSAI-TECH事業創出プログラム説明会 アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- Future Awards / Open Bridge プログラム説明
- Future Awards テーマ説明（仙台市・多賀城市）
- Open Bridge 共通課題説明
- 今後のご案内（エントリー）
- 質疑応答

仙台BOSAI-TECH事業創出プログラム説明会 アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- Future Awards / Open Bridge プログラム説明
- Future Awards テーマ説明（仙台市・多賀城市）
- Open Bridge 共通課題説明
- 今後のご案内（エントリー）
- 質疑応答



SENDAI BOSAI TECH

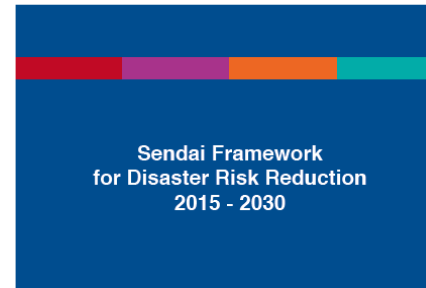
仙台BOSAI-TECH 事業創出プログラム説明会

仙台市経済局イノベーション推進部産業振興課

仙台防災枠組2015-2030

● 第3回国連防災世界会議（2015年3月開催）

幾多の災害から日本が得た教訓、防災技術・ノウハウ等の発信。
国際的な防災の取組指針「仙台防災枠組2015-2030」を採択。



● 持続可能な開発目標（SDGs）（2015年9月決議）

ターゲット11.b（抜粋）

『2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。』



仙台市経済成長戦略2023（2019年～2023年）

取り組みの視点

ウィズコロナによる
地域経済の再生と変革

地元企業や産業の
競争力強化

経済成長と
社会的課題解決の両立

東北の
持続的発展への貢献

数値目標

2023年度までに黒字企業割合50%超

2つの感染症対策プロジェクトと7つの重点プロジェクト

地域経済の再生と 新たな挑戦

地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

経済環境の変化を踏まえた変革の促進

地元企業の更なる成長促進

「地域リーディング企業」を生み出す
徹底的集中支援の推進
(意欲ある中小企業の成長促進)

ローカル経済循環を拡大する
「地消地産」の推進
(中小企業の持続性向上・域内経済循環促進)

イノベーションによる新たな成長の促進

Society5.0を実現する
「X-TECHイノベーション都市・仙台」
(ICTによる地域産業の高度化)

東北の豊かな木米を創る
「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」
(起業支援の新たなステージへ)

次世代放射光施設立地を最大限に生かす
「光イノベーション都市・仙台」
(次世代放射光施設の利活用促進)

地域経済が成長する ための基盤づくり

ダイバーシティ経営と人材確保
(多様な人材が中小企業で活躍する社会へ)

仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり
(企業誘致推進・東北自治体とのネットワーク強化)

持続的な経済成長

目指す姿

仙台・東北で暮らす人々が豊かさを実感できる未来

- 社会課題をICTを用いて解決するとともに、ICT産業の振興を行う。
- そのうちのひとつが仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業。

仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

経済面からの視点で、BOSAI-TECH
(防災×IT) 分野での新事業創出を支援

仙台防災枠組

世界の災害リスク削減の実現

仙台市経済成長戦略2023

- 東日本大震災の教訓を踏まえた防災環境都市作り
- Society5.0を実現する「X-Techイノベーション都市仙台」の実現

BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

新事業創出の
プログラム
(2019年度・開始)

+

BOSAI-TECHプラットフォーム

事業創出の活動母体
(2022年2月3日設立)

仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム

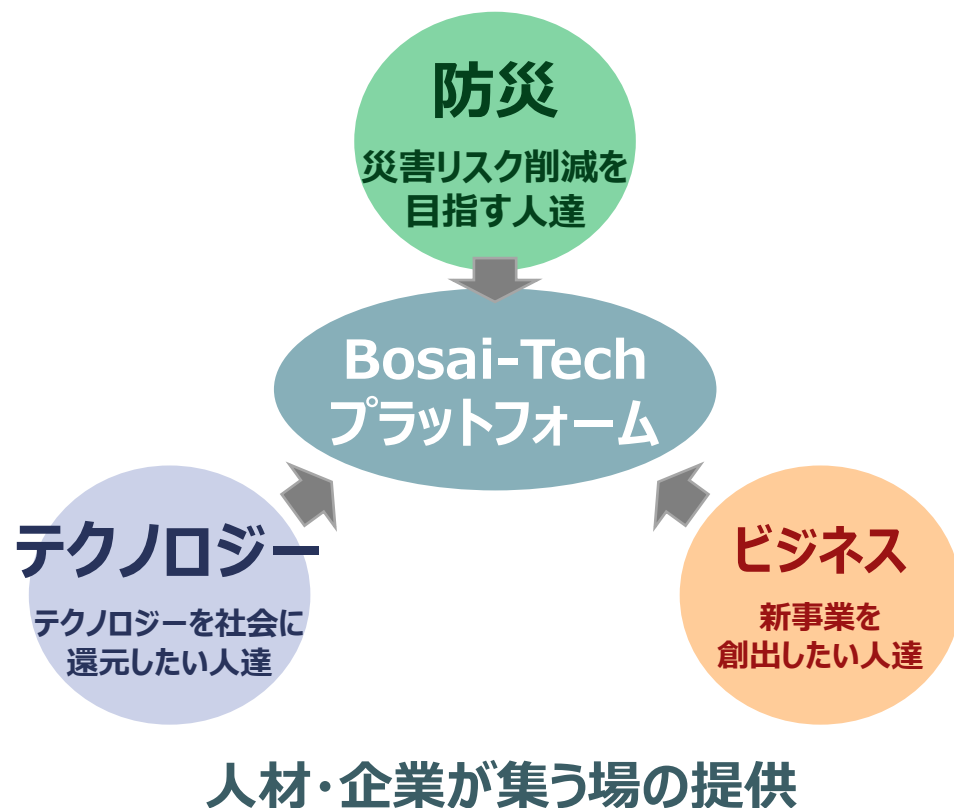


■プラットフォームの目指す姿

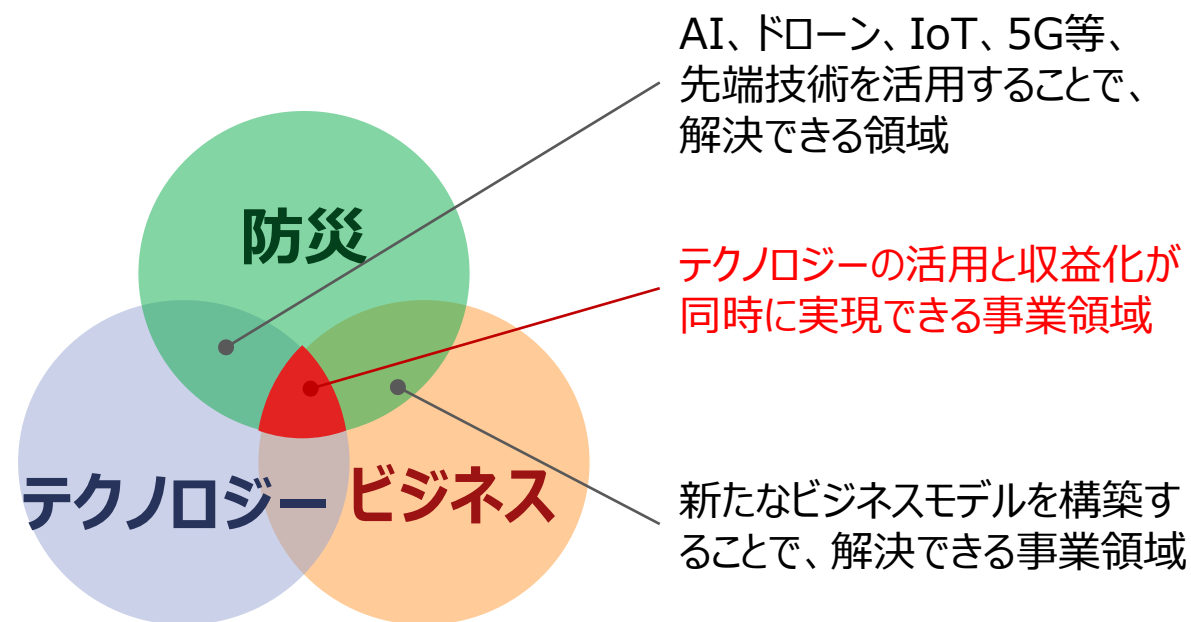
『仙台防災枠組』の実現を目指し、
【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した
新たな解決策を生み出す場となり、
その解決策を仙台、日本全国、世界へと展開する

2022年2月3日にプラットフォームを設立
(2023年7月31日時点で179の団体が参画)

プラットフォームのコンセプト

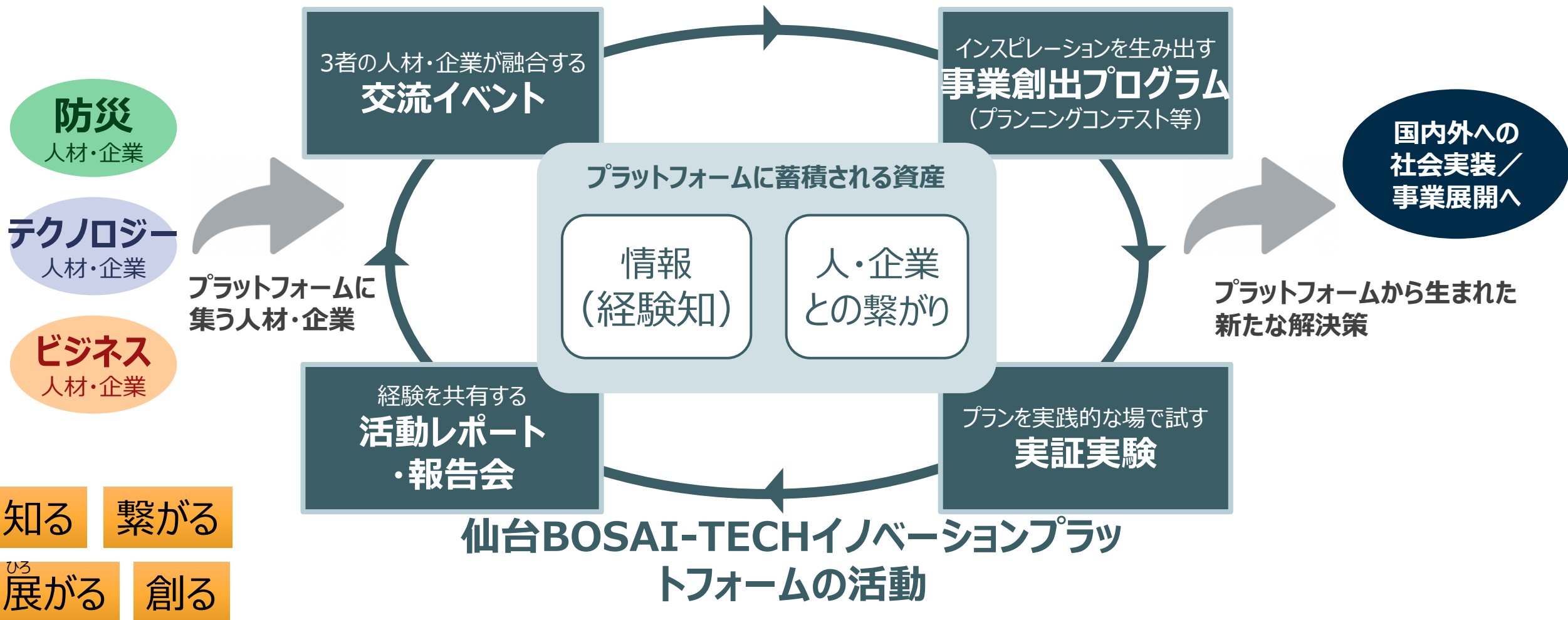


■プラットフォームで創出する解決策の領域



【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した
新たな解決策を持続的に生み出す

プラットフォームの活動内容



国内事業創出プログラム 支援事例

屋外拡声装置×音声デジタル加工
(サウンド株) 2022.2)



津波避難施設×映像伝送システム
(AMA Xperteye株) 2023.1)



多賀城市：IP無線機×情報共有システム
(株) ミライエ 2023.2)

現地班



現地状況の写真・動画を撮影、対応報告



本部班



地図情報で状況把握、対応指示



2023年度 プログラム概要（1/2）

全国企業向け 事業創出プログラム

フューチャーアワーズ
Future Awards

テクノロジーで明日を守るプランニングコンテスト。仙台市と多賀城市が抱える実際の防災・減災課題について、テクノロジーで解決するアイデア・プランを募集。

オープnbrリッジ
Open Bridge

New

防災現場の声を集めるソリューション発表会。選考を通過した企業には、自治体へ、防災・減災課題を解決するソリューションのデモンストレーションを行っていただきます。

仙台・東北企業 向けプログラム*

実証実験支援

事業化・社会実装を進めるための実証実験に係る費用を支援。

試作開発支援

New

アイデアの事業化を検証するための試作開発に係る費用を支援。

海外展開支援

海外展開について、専門家への個別相談を実施。

提出締切
8/31（木）

*1.東北に拠点がある中堅以下の企業が対象。東北に拠点が無い場合、**拠点のある対象企業との共同提案で応募が可能です。**

*2.事業化に向けて、過去の採択企業への継続支援も行っています。

2023年度 プログラム概要（2/2）

情報発信 ／交流イベント

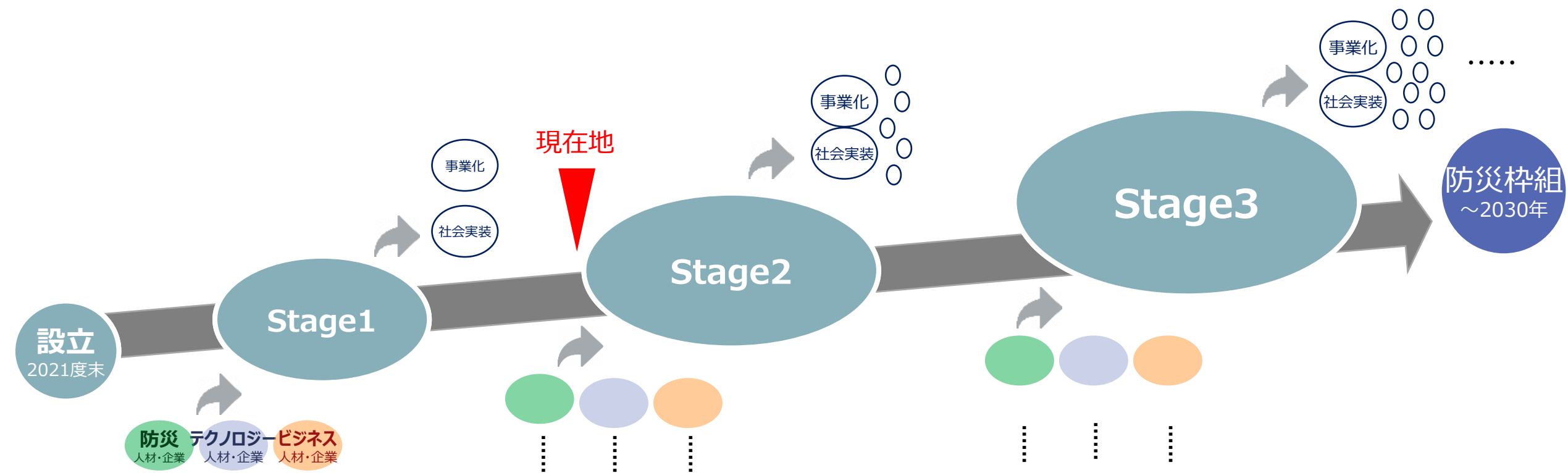
仙台BOSAI-TECH カンファレンス

防災分野に関心の高い企業・研究機関・自治体が集結。
BOSAI-TECHの最新事例の紹介やマッチング機会を提供するイベント。

仙台BOSAI-TECH Lounge (ラウンジ)

BOSAI-TECHに関心のある方々の交流を目的とした、
座談会やセミナーなど、様々な形での単発イベントシリーズ。

仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームのロードマップ



防災・テクノロジー・ビジネスの人材が集まり、
仙台(東北)を中心に解決策創出が試みられる

他自治体でも解決策の創出が進み、
日本全国へBOSAI-TECHの取組が広がり始める

海外展開が進み、
BOSAI-TECHのエコシステムが成熟する

仙台BOSAI-TECH事業創出プログラム説明会 アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- Future Awards / Open Bridge プログラム説明
- Future Awards テーマ説明（仙台市・多賀城市）
- Open Bridge 共通課題説明
- 今後のご案内（エントリー）
- 質疑応答

仙台BOSAI-TECH Future Awardsとは？

防災・減災課題を解決するプランニングコンテスト

- ・ 自治体から**防災・減災に関する課題**を提示
- ・ 課題に関して**テクノロジーで解決するアイデア・プラン**を募集

アイデア・プランの社会実装にむけた実証実験を支援

- 防災現場からの意見を受けて、提案したアイデア・プランをブラッシュアップできる
- 自治体の協力*のもと、**提案したアイデア・プランの実証実験**ができる

*実証実験フィールドの提供、ユーザテストの協力など。

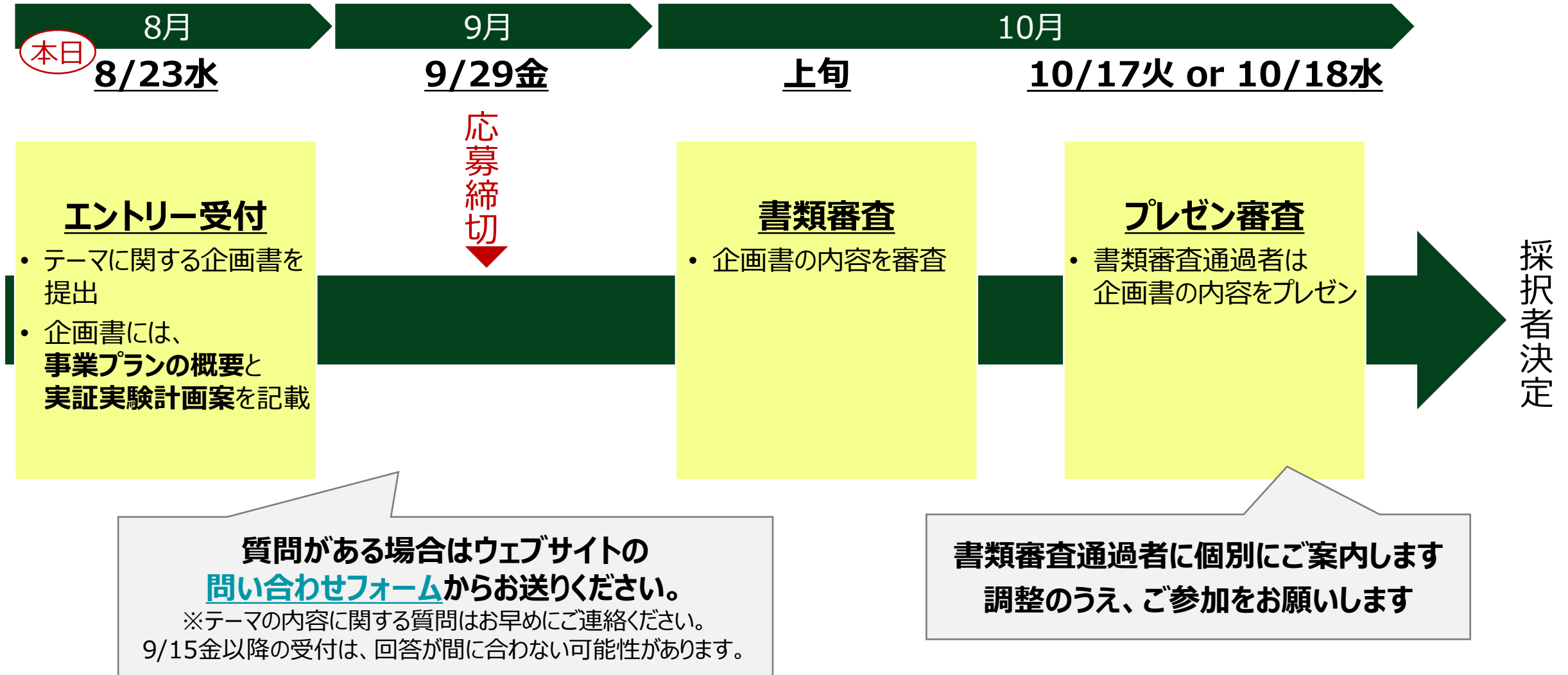
- **実証実験費用の補助（最大50万円）** *を受けられる

*原則、中小・中堅企業がアイデアの提案や実証実験を主導する場合に限る（応募自体は企業の規模を問わず可能）。中小・中堅企業とは、中小企業法で定められる中小企業及びそれ以外の資本金10億円未満の企業を指す。

防災・減災課題の解決に意欲的で、 主体的に実証実験に取り組むことができる法人

- **解決に資するアイデア**や防災・減災に応用できる**技術・プロダクト***を持つこと
*IoT、AI、ドローン、ロボット、センシング、データ分析、位置情報など
- 実証実験のための**ソリューション***を用意できること
*プロトタイプでも可。
- 実証実験の際に**現地（自治体の提供するフィールド）に参加***すること
*実証実験のみ。プログラム自体は原則オンラインで実施。
- 採択された場合、仙台BOSAI-TECHプラットフォームへ会員登録ができること
（採択時点で会員でない場合）

スケジュール：エントリーから一次採択まで

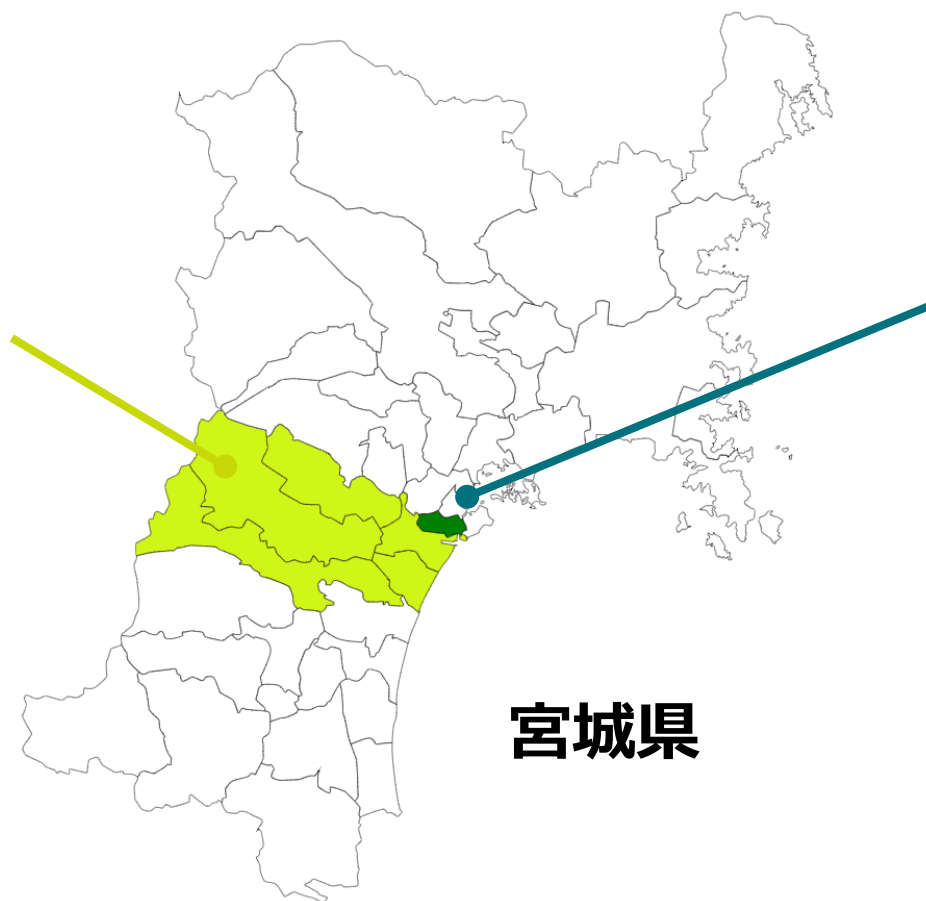


仙台市

危機管理局
経済局農林土木課

多賀城市

総務部危機管理課



宮城県

仙台BOSAI-TECH Open Bridgeとは？

仙台BOSAI-TECH Open Bridge

～ 防災現場の声を集めるソリューション発表会 ～

自治体が共通で抱える防災・減災課題に対し、
解決できそうな自社ソリューションを自治体の前でデモンストレーション形式で発表する場

このような方におススメ

- 今ある防災関連のテクノロジーやソリューションをより良くしたい
- 今あるソリューションを防災・減災シーンでも活用できるか、検証したい

参加メリット

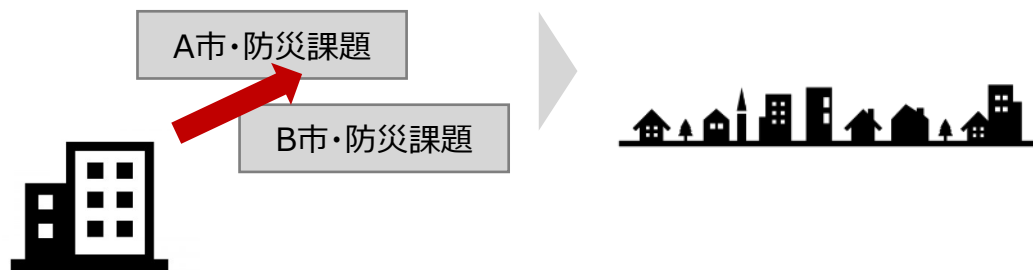
- 仙台BOSAI-TECHプラットフォーム会員の自治体にデモンストレーション形式でソリューションを紹介できる
- 防災現場の目線で、ソリューションに対する意見やフィードバックが得られる

仙台BOSAI-TECH Open Bridge Future Awardsとの違い

参加の流れ

Future Awards

～ テクノロジーで明日を守るプランニングコンテスト ～



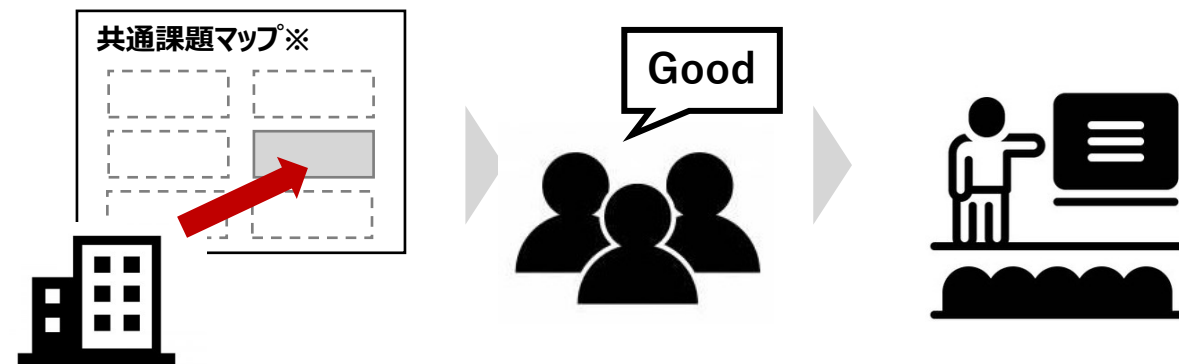
参加自治体が抱える防災課題
に対して解決するアイデアを提案

参加自治体のフィールドで
アイデアの有用性を実証実験

Open Bridge

Open Bridge

～ 防災現場の声を集めるソリューション発表会 ～



解決できそうな
防災課題を選び、応募

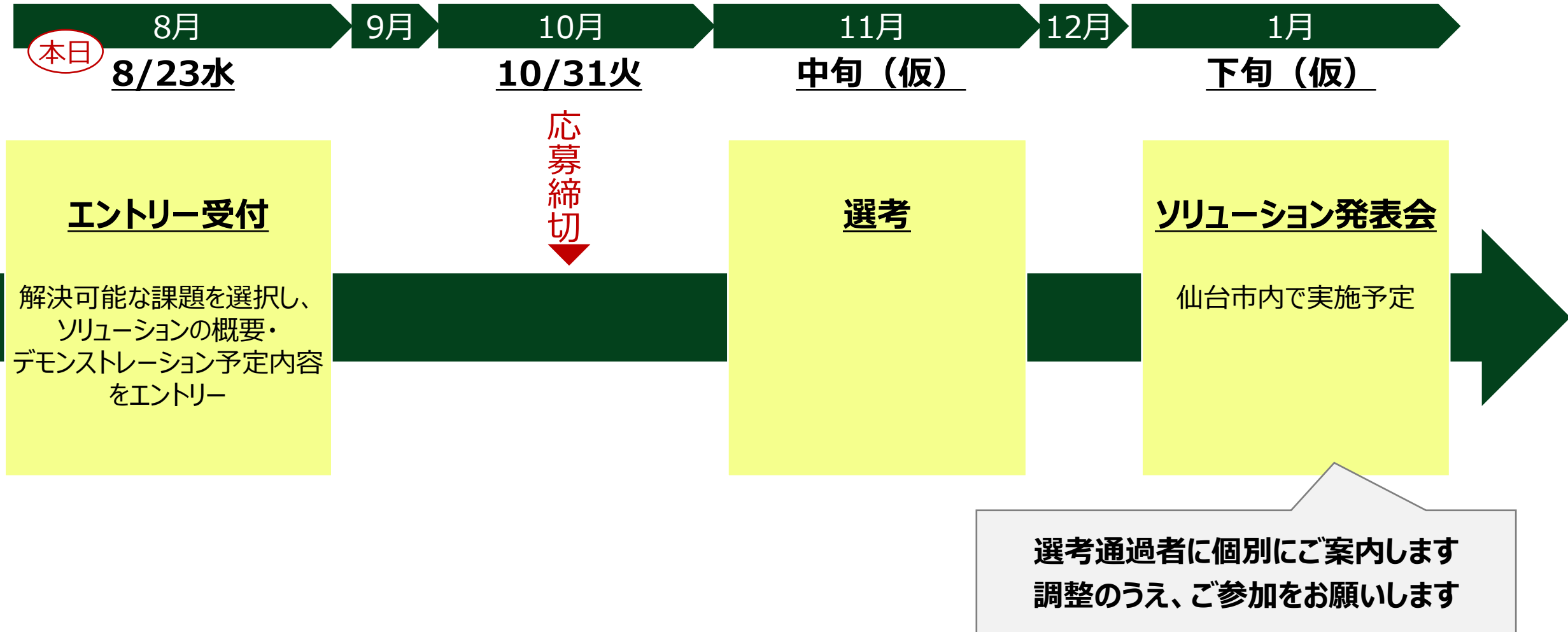
気になるソリューションを
複数の自治体を選考

自治体の前で、
ソリューションのデモ発表
・フィードバックの収集

※共通課題マップの説明は、後述

スケジュール：エントリーから一次採択まで

Open Bridge



仙台BOSAI-TECH Open Bridge
2023年度 参加自治体 (8月20日時点)

Open Bridge



仙台市
SENDAI CITY



塩竈 SHIOHAMA



多賀城市



東松島市
HigashiMatsushima City



やまもとちょう

山元町

キラリやまもと!
みんなでつくる
笑顔あふれるまち



丸森町



松島町

宮城県域を中心にBOSAI-TECHのソリューションに
関心の高い自治体が続々と集まっています

- 仙台市からのご挨拶
- Future Awards / Open Bridge プログラム説明
- Future Awards テーマ説明（仙台市・多賀城市）
- Open Bridge 共通課題説明
- 今後のご案内（エントリー）
- 質疑応答

Future Awards2023 テーマ一覧

Future Awards

※詳細版資料は[こちら](#)よりご確認ください。

		テーマ	提供自治体
01 効果的な災害情報の伝達	1-1. 沿岸部における効率的な情報伝達	沿岸部にいる不特定多数の方へ、津波避難施設の位置を容易に認識でき、迅速な避難誘導に役立つソリューションを募集します。	仙台市
	1-2. 登下校中の子供達に対する情報伝達	登下校中の児童や生徒に対して、スマートフォンを使わずに国民保護情報をリアルタイムに伝達し、情報が理解しやすいソリューションを募集します。	
02 災害情報把握と地域連携	2-1. 沿岸部の避難・被害情報の把握	津波災害で、沿岸部に職員が駆けつけられない際に、避難施設だけでなく地域全体の被害状況・避難状況を把握するのに役立つソリューションを募集します。	多賀城市
	2-2. 自治体と町内会間での避難・支援情報伝達	災害時、自治体と町内会間でスムーズかつ効果的に情報を伝達できるよう、デジタルデバイスに不慣れでも利用可能なソリューションを募集します。	
	2-3. 幼保施設と保護者との情報共有	災害時、通信状況が安定しない場合でも、幼保施設と子どもの保護者が相互に連絡がとれ、安全に子どもを引き渡すことができるのに役立つソリューションを募集します。	
03 農業分野からの災害対策	3-1. 農業施設の被害状況の効率的な把握	発災時の農業施設について、防災重点農業用ため池における被害状況分析の精度向上や、リアルタイムで監視をしていない地域の状況把握を可能にするソリューションを募集します。	仙台市
	3-2. 小規模農業施設での防減災機能強化	大雨時の水害防止や市民の安全確保のため、農業用簡易取水ゲートの遠隔操作もしくは自動化を可能とするソリューションを募集します。	
04 次なる災害への備え	4-1. シミュレーションによる都市型津波への備え	東日本大震災において発生した「都市型津波」について、特に小中学生が手軽にシミュレーション結果を知り、その脅威を正しく捉え今後に備えることに役立つソリューションを募集します。	多賀城市
	4-2. 市民・観光客への震災伝承・防災教育	現在市内で行われている取り組み（震災アーカイブサイト、伝承まち歩き等）を踏まえて、市民や観光客への震災伝承・防災教育に役立つソリューション・アイデアを募集します。	

仙台BOSAI-TECH事業創出プログラム説明会 アジェンダ

Open Bridge

- 仙台市からのご挨拶
- Future Awards / Open Bridge プログラム説明
- Future Awards テーマ説明（仙台市・多賀城市）
- Open Bridge 共通課題説明
- 今後のご案内（エントリー）
- 質疑応答

Open Bridge2023 共通課題マップ

Open Bridge

※補足コメント資料は[こちら](#)よりご確認ください。

平時

避難の準備・計画

- ・避難計画/マイタイムラインの策定・普及
- ・自主防災組織活動/避難訓練等の促進

設備・物資の備え

- ・避難用設備の点検・メンテナンスの効率化
- ・防災設備の高度化
- ・備蓄物資の点検・補充・期限管理等の効率化
- ・流通在庫備蓄の高度化

災害リスクの評価

- ・シミュレーションによるリスク評価・可視化
- ・ハザードマップの普及・活用の促進

防災知識の普及

- ・地域住民の防災意識の向上
- ・防災学習の充実

発災時

災害情報・避難情報の集約・共有

- ・リアルタイムの災害情報の収集・分析
- ・遠隔地域の災害情報・避難情報の集約
- ・対策本部・関係部署・現場との迅速な情報共有

避難情報の発信・伝達／避難誘導

- ・市民属性や地域特性に応じた柔軟な避難情報の伝達（高齢者・障害者・外国人・旅行者等／遠隔地・市街地等）
- ・状況に応じた柔軟な避難誘導
- ・沿岸部における津波避難情報の伝達

避難所の運営

- ・避難所の迅速な開設/避難者状況の把握
- ・避難所運営の効率化
- ・避難所以外の被災者への支援（自宅避難等）

被災後

被災後の避難支援

- ・被災状況の迅速・効率的な把握
- ・応援受入/NPO・支援組織との連携
- ・避難長期化への対応）避難所の適切な衛生管理
- ・避難長期化への対応）被災者の心身のケア

復旧・復興

- ・市民の生活再建に向けた支援への対応
- ・地域コミュニティの再建

経験の伝承

- ・災害経験の記録・蓄積
- ・震災アーカイブデータ・伝承施設の活性化

仙台BOSAI-TECH事業創出プログラム説明会 アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- Future Awards / Open Bridge プログラム説明
- Future Awards テーマ説明（仙台市・多賀城市）
- Open Bridge 共通課題説明
- 今後のご案内（エントリー）
- 質疑応答

Future Awards

[ウェブサイト](#)からエントリー受付中
9/29金 締切



＜企画書の記載項目＞

1. 事業プランの概要
 - ・ テーマの課題を解決するソリューション
 - ・ ソリューションに使用する技術・テクノロジー
2. 実証実験計画案
 - ・ 実施体制
 - ・ 実証実験で検証する仮説、検証方法
 - ・ 具体的な実施内容、スケジュール
 - ・ 概算費用とその内訳

Open Bridge

[ウェブサイト](#)からエントリー受付中
10/31金 締切



＜エントリー内容＞

1. 対応する防災課題
2. ソリューション名／ソリューション概要
ソリューション概要は、以下のいずれかを提出必須
 - ・ 紹介資料（PDF）
 - ・ 参照URL（ホームページ等）
 - ・ 動画リンク
3. デモンストレーション予定概要
※室内で15分程度で可能な内容

仙台BOSAI-TECH事業創出プログラム説明会 アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- Future Awards / Open Bridge プログラム説明
- Future Awards テーマ説明（仙台市・多賀城市）
- Open Bridge 共通課題説明
- 今後のご案内（エントリー）
- 質疑応答